

手掛けるリンクスジャパン（千葉菊雄社長、愛知県江南市）は7月から、軽自動車用リビルドエンジンの価格を値下げした。作業効率の改善により量産化の体制を整えたことで、値下げを可能とした。

もあわせて値下げしている。

価格改定を行うにあたり、独自の部品在庫管理システムを構築した。作業工程を改善して計画的な生産を行うことで、在庫数を増やすこととリビルド作業におけるコスト削減を実現した。値下げ幅は、従来に比べ約10%前後とした。また、2〜3クラス車のリビルドエンジンの一部

軽自動車のエンジンは、オイル交換などのメンテナンスを怠ることにより、スラッジやカーボンがオイルラインに詰まることによるトラブルが多い。こうした背景から、リビルドエンジンの需要が増えている。

同社の軽自動車用リビルドエンジンの販売比率も従来より上昇しており、価格を下げることでユーザーのニーズにこたえる。また、今年より保証期間を従来の「1年2万キ」から「2年4万キ」に延長しており、価格改定とあわせて他社との差別化を進める方針だ。

別化を進める方針だ。

軽自動車用リビルドエンジン値下げ リンクスジャパン

エンジンのリビルドを